

原子力発電所では、万が一の重大事故に備えた訓練を繰り返し行っています



原子力発電所において、
万が一の重大事故等が発生した場合に、
あらゆる事象に速やかに対応するため、

緊急時の体制や手順を整備し、

さまざまな訓練を繰り返し行っています。

【主な訓練の例】

- 電源の供給訓練
- 冷却水の供給訓練
- 放射性物質の拡散抑制訓練
- 住民避難のための通報連絡訓練
など



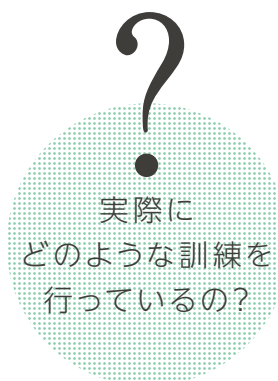
放射性物質の拡散抑制訓練(放水砲の設置)

■川内原子力発電所の重大事故対策要員

勤務時間外や休日(夜間)でも、重大事故が発生した場合に速やかに対応するため、発電所やその近くに、一班52名の対策要員等を常時確保する宿直体制を整備しています。

区分	人数	
緊急時対策本部要員	4名	52名
運転員	12名	
重大事故等対策要員	36名	

※玄海原子力発電所の重大事故対策要員の宿直体制についても整備していきます。



詳しくは裏面へ

原子力発電所では、万が一の重大事故の発生に備えた訓練を繰り返し行っています。

電源の供給訓練



電源ケーブルの運搬



中容量発電機車の電源ケーブル接続

冷却水の供給訓練



可搬型ディーゼル注入ポンプの設置



海水を取水する水中ポンプの設置

放射性物質の拡散抑制訓練



放水砲の設置



放水砲による放水

県が主催する原子力防災訓練に参加し、原子力防災組織が有効に機能することの確認や防災対策の習熟を図っています。

県主催の原子力防災訓練（川内原子力発電所）



通報連絡訓練



グループホームでの要支援者の避難誘導訓練



事故拡大防止訓練（可搬型ポンプ設置訓練）



後方支援拠点の設置・運営訓練

2015年12月、川内原子力発電所の重大事故の発生を想定して、鹿児島県による原子力防災訓練が行われ、当社も事業者として参加しました。

【当社訓練の概要】

- 通報連絡訓練
本店と発電所間の情報共有（TV会議）、通報連絡等の訓練
- グループホームでの要支援者の避難誘導訓練
福祉車両を使用した要支援者の避難誘導訓練に当社社員が協力
- 事故拡大防止訓練
発電所における電源復旧、緊急被ばく医療搬送の訓練等
- 後方支援拠点の設置・運営訓練
事故収束活動を支援する後方支援拠点を設置し、指揮所機能等の運営訓練